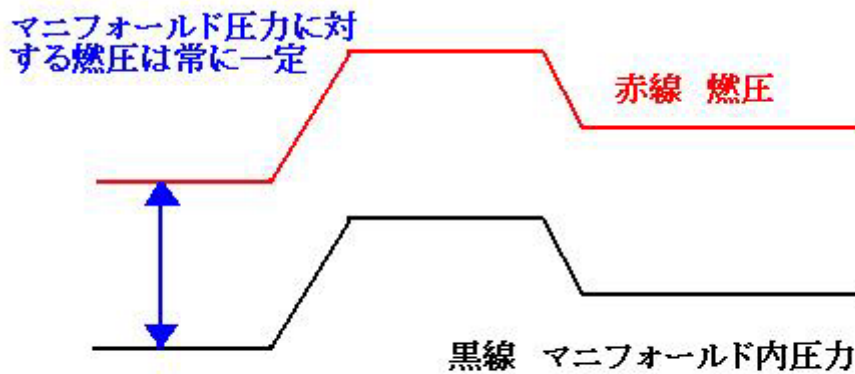


### ミニ的都市伝説第3弾!! 可変燃圧レギュレーターのお話。

インジェクターの燃圧にマニフォールドのバキューム差圧をかける場合と掛けない場合があります。この差はインジェクター自身がスロットルバタフライの下流に位置するか、上流に位置するかにより分かります。

インジェクターがスロットルバタフライの下流(インマニ側)に位置する場合、マニフォールド内の負圧の影響を受けます。ミニのインジェクションでと例えれば、アイドリング時のMAPセンサーの数値が35kpaの場合大気開放100kpaに対して-65(およそ0.65bra)の負圧が発生します。燃圧3braの燃圧をかけたまま噴射した場合負圧分が加算(吸い出される力)されて3.65braの噴射圧力になってしまいます。このためマニフォールドの負圧を利用してレギュレーターを稼働させ、インジェクターにかかる燃圧をマニフォールド圧に対して一定にしています。下はイメージ図です...



対して、インジェクターがバタフライの上流(大気側)に位置する場合は、インマニの負圧に影響を受けないので、バキュームによるレギュレーター制御は不要になります。ミニでよく見るアイテムにバキュームで燃圧を変動させて燃調を制御するものもありますが、加速時などにはECUの加速補正に圧力上昇分の燃料が加算せれて調リッチ(息継ぎなど)になってしまいます。またチューニングを進めていくとアイドリング時の負圧が低下するので、大気開放時との差圧が少なくなり、息継ぎ現象を感じなくなる場合もあります。この辺りは私ぜんぜんノウハウがありませんが。。

信じるか/信じないかは・・・